

◇ 令和4年度 指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「志津南」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	18,956,992円	/	20,284,595円	コロナ対策補助金を活用し、充実した保育を行える備品やおもちゃを購入することが出来た。	利用者・支援員双方が安全で満足できる運営を目指したい。
施設HPアドレス	https://minnanoie.roukyou.gr.jp		2年目	18,920,119円		20,182,793円	コロナ対策補助金を活用し、充実した保育を行える備品やおもちゃを購入することが出来た。	利用者・支援員双方が安全で満足できる運営を目指したい。
指定管理者名	労協センター事業団		3年目	19,608,218円		22,645,965円	コロナ対策補助金を活用し、充実した保育を行える備品やおもちゃを購入することが出来た。	利用者・支援員双方が安全で満足できる運営を目指したい。
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日		5年目					

●総合評価の基準	
5	☆☆☆☆☆ 評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆ 評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆ 評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆ 評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆ 評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	令和2年4月1日
施設の供用開始日	平成21年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆
令和4年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
指定管理者が変わったの3年目。まだ、以前の指定管理者や支援員と比較される機会も多く、保育の質を下げないように努力する。また、児童、保護者両方に喜んでもらえる運営・管理を目指したい。		概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
常勤支援員も増え、子どもたちにとって楽しい夏休みが始まった矢先、食物アレルギーによる救急搬送があったため、支援員間はお互いに努力をしないとけないという使命感を持ち、共通理解と情報交換をこまめにし、保育にあたってきた。 のびっ子が楽しいと言ってくれる子どもも多く、いい方向に管理・運営が出来たのではと思う。		(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は市内複数の児童育成クラブにおける指定管理者としての実績や、過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1.2)				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	7月に食物アレルギーによる救急搬送があり、以降、アレルギーに関しては支援員間の共通認識と確認を厳重に行い、二度と起こさぬよう気を配っている。	上半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら適正に運営されたものの、アレルギーの事故があった。おやつ提供時の職員体制については再度見直し、アレルギーについての研修を受講するなど各職員が細心の注意を払い、再発防止に努める必要があった。
	☆☆☆		☆☆	
	下半期評価	アレルギーはもちろん、ケガや子ども同士のトラブルなどに関して、支援員間の共通理解の機会を増やし、施設の運営の向上を目指している。	下半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。市の研修にも参加され、受講後研修参加者が研修報告書を作成し、クラブ内で情報共有に努められた。
☆☆☆☆		☆☆☆☆		

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2)				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	行事を工作などの個人で楽しめることを中心に行った。個人情報は鍵のかかる机にしまうことを徹底している。	上半期評価	コロナ禍ではあるものの、工夫され時期に合ったイベントを実施された。イベントについては、児童が主体的となって企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫された。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	上期に引き続き、行事を工作などの個人で楽しめることを中心に行った。個人情報は鍵のかかる机にしまうことを徹底している。	下半期評価	コロナ禍ではあるものの、工夫され時期に合ったイベントを実施された。イベントについては、児童が主体的となって企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫された。
☆☆☆☆		☆☆☆☆		

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3)				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	おたよりを発行し、子どもや行事の様子を保護者に伝えた。遊びの途中でトラブルは一旦遊びをやめ、みんなで解決するルールを決め、子ども同士のトラブルも減った。	上半期評価	おたよりを通じて児童の様子を保護者に伝えられていた。また、児童に対しても自主性や社会性を身につけるよう工夫された。事故対応時の連絡については速やかに行う必要があった。
	☆☆☆☆		☆☆	
	下半期評価	児童入退所システムの導入に伴い、おたよりの配布をやめ、アプリでの配信と玄関先での掲示で子どもや行事の様子を保護者に伝えた。	下半期評価	おたよりを通じて児童の様子を保護者に伝えられていた。また、児童に対しても自主性や社会性を身につけるよう工夫された。従来のおたよりに加え、システムを通じて児童の様子を中心とした事務連絡やイベント予定を周知し、保護者とのコミュニケーションを図られた。
☆☆☆☆		☆☆☆☆		

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3.4)				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月、設備点検をするようにしている。また、気が付いた箇所は即時に対応するようにしている。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。毎月の設備点検や日々清掃活動もされた。施設自体も綺麗に維持管理された。
	☆☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	上期に引き続き、毎月設備点検をしており気が付いた箇所は即時対応するように心掛けている。	下半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。毎月の設備点検や日々清掃活動もされた。施設自体も綺麗に維持管理された。
☆☆☆☆		☆☆☆		